

【第7回 Yokohama 地域学校協働活動フォーラムに参加・出展しました】(菊池紀男)

テーブルの前に垂らした横断幕、揃いのカラーの T シャツ、活動を記録した写真立など、万端の準備で臨み、更には阿部委員長の腕力で会場のベストポジションを確保できたことが大きく、昨年に続く二度目の参加でしたが、短い時間に有効な活動ができたと感じました。

改善が必要と感じた点は、視聴覚に訴える点が少なく、英語落語などは例外だが、口頭での説明だけでは十分に理解されない、ないしは理解されても余りアピール出来ないように思われました。

これは出前授業と共通の課題ではないかと思われます。

動画や音を使う、ネイティブの参加で関心を呼ぶなど考えても良いのではと思います。

会話の中で出たポイントを幾つか。

1. 既に決まったプログラムで進んでいる (2校)
2. 予算が少なく (全くなく) 外部にお願いするのは厳しい (2校)
3. 直接の担当者ではない先生は決められないので、参加していなかった担当者に会う必要がある。(2校)
4. 英語落語に興味 (1校)

最後に、今回話をした団体を下記致します。

1. 市立鶴ヶ峰中学校
2. 市立太尾小学校
3. 市立荏田西小学校
4. 市立一本松小学校
5. 市立幸ヶ谷小学校
6. 市立鐵小学校
7. 町田市学校支援センター

以上